

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成24年9月20日

施設名	塩見記念青少年プラザ	所管課室	生涯学習課
-----	------------	------	-------

1. 施設の概要

指定管理者名	青少年育成高知県民会議
指定期間	平成21年4月1日～24年3月31日
施設所在地	高知市小津町6番4号
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成23年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 学生将棋交流会 絵画教室 たのしい打楽器教室 初歩からのオカリナ教室 オカリナ教室Ⅱ クリスマスコンサート よさこい納涼花火大会 ジャグリング出前教室 夏休み親子教室 (消しゴムはんこ、海の木エクラフト、山の木エクラフト、電気のふしぎ) 高知城英語ガイド講座 パソコン教室 将棋大会 囲碁大会
施設内容	<p>バンド、演劇など青少年の自主的な活動や交流・発表の場所、仲間づくりや情報交換の場所を利用者に提供している。</p> <p>利用開始日：平成16年8月1日</p> <p>延べ床面積：1086.83㎡</p> <p>建築物：鉄筋コンクリート5階建</p> <p>トークサロン</p> <p>まんが図書室</p> <p>学習室(個人用) 個人ブース12席、車椅子用2席</p> <p>学習室(グループ用) 14席</p> <p>多目的室 椅子100席、机60席</p> <p>音楽スタジオ</p>
職員体制	職員：館長1名 事務局長1名 事務員3名 非常勤4名 合計：9名

2. 収支の状況

		H22年度(決算)	H23年度(決算)	H24年度(予算)
収入	県支出金	16,174,000	16,322,000	15,988,000
	事業費収入	194,800	229,600	279,000
	その他(駐車場収入等)	24,000	35,740	90,000
	収入計(a)	16,392,800	16,587,340	16,357,000
支出	事業費	858,258	813,229	1,220,000
	管理運営費	7,024,011	7,203,700	6,747,000
	人件費	8,199,124	8,311,965	8,390,000
	消費税			
	支出計(b)	16,081,393	16,328,894	16,357,000
収入(a)-支出(b)		311,407	258,446	0
使用料収入		1,104,930	1,487,932	1,122,000

3. 利用実績

(1)利用者数合計 ※(2)～(5)の計

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均
人数	27,958	24,738	22,459	21,019	21,938	23,622

(2)音楽室利用者数

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均
人数	3,969	3,764	3,624	3,545	3,349	3,650

(3)多目的室利用者数

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均
人数	5,476	4,840	4,086	4,291	4,412	4,621

(4)学習室(団体)利用者数

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均
人数	919	703	536	497	403	612

(5)学習室(個人)・トークサロン・まんが図書室利用者数

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均
人数	17,594	15,431	14,213	12,686	13,774	14,740

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均
開館日数	307	306	306	306	306	306

4. 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「生涯学習」の視点から、小学生から高齢者までの幅広い年齢層に対して、利用者のニーズにあわせた主催事業を実施している。(平成23年度は平成22年度に新規開発したオカリナ教室応用編を継続し、絵画教室、夏休み親子消しゴムはんこ教室、ジャグリング出前教室を新規開発) ○利用者の年齢や施設に対するニーズ等に応じて、施設側からの関与の度合いに工夫を持たせるなど、利用者が学習や趣味(バンド活動や読書など)を満喫し、放課後や休日の「居場所」として、快適に過ごせるように配慮している。 ○高知県聴覚障害者協会の講演・研修の開催にあたって、会議開催支援(マスコミや地域へのPR)を積極的に行い、新規利用団体の活動が定着するよう取り組んでいる。 ○主催事業の開催案内は高知新聞伝言板欄に必ず掲載依頼を行っている。(平成23年度は年15回) また、マスコミへの後援・取材依頼を積極的に働きかけて、施設のPRに努めている。 ○初めての利用者には、利用方法等を丁寧に説明し、希望があれば実地に案内しながら説明をした。また、フレンドリーな声かけを心がけ、施設の感想を聞き利用者ニーズの把握とリピーター確保に努めた。 ○新たに高知市外への出前事業を実施して、高知市内だけでなく広範囲の利用者の確保に努めている。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用者のニーズ把握を行うため、音楽スタジオを使用するグループと懇談会を設けて、機器の配置や使い勝手、音色、使用メーカーなどに関する感想や要望を聞き、改善に努めている。 また、主催事業は事業終了後にアンケートを行い、その内容を参考に次回企画に活かしている。 ○来たるべき南海地震に備えて、少年サポートセンターやはまゆう教育相談所と連携した自衛消防隊を再編し、連絡網の確認を行い、消防計画の見直しをした。 ○主催事業であるクリスマスコンサートで、オカリナ教室参加者の発表機会を確保するなど、自主活動の拡大に向けた協力・支援を行っている。 また、「青少年将棋交流会」では、新たな参加者が増加するなど、施設を中心とした青少年のネットワークが広がっている。 ○花火大会観覧では、昨年度からのロコミで利用者が倍増となったが、4階を開放するなど利用者ニーズに応じた柔軟な対応が行われている。 ○施設を快適に利用してもらう為に、開閉館時に職員が建物内外の点検、自転車の整理、館内清掃を励行するとともに、備品使用後の点検・清掃・収納を行い、次回利用に備えている。

③施設の運営について	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年間の事業計画の中で、プログラムごとの担当者を決め、利用者への対応に支障のないように努めている。また、変則勤務の職員・パートのため、施設の統一した利用ルールの周知や業務引き継ぎを文書による回覧で徹底している。 ○ホール・スタジオの備品、機材を大切に使うため、使用方法を職員が利用者に伝えることにより、修繕の頻度が少なくなっている。 ○青少年健全育成研修会やアドバイザー協議会の研修、青少年育成市町村民会議等に職員を積極的に参加させて、関係機関との情報共有や職員の資質向上に努めている。 ○環境マネジメントシステムの実施に伴い、管理標準及びエコオフィスルールを作成し、使用節減の取り組みを実施した。また、入居団体が情報確認をできるようにし、エネルギー節減に関して連携した取り組みを行った。 ○施設使用の可否や利用者への対応等について、文書等での職員間の情報共有を徹底し、指導や判断の一貫性と継続性を持たせている。
④利用実績	○主催事業への参加者が増えたことにより、平成22年度に比較して、919人増の21,938人となった。
⑤収支の状況	<p>○利用者数が919人増加したことにより、使用料収入は平成22年度と比較して383千円の増収となった。</p> <p>管理代行料は、258,446円の剰余金を計上した。</p> <p>決算額 16,322,000円</p>
<p style="text-align: center;">総合評価</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <p>○幅広い年齢層のニーズに応え、新たに「絵画教室」を実施し、異年齢間の交流を促進するとともに、青少年向けの主催事業として「夏休み親子消しゴムはんこ教室」「ジャグリング出前教室」を新規開発して、利用率向上の糸口を見出した。</p> <p>○前年度と比較して、利用者数、利用申請数はともに増加しており、卓球やダンス等の利用もあり、年齢や性格等に応じた柔軟な対応を行うことで、青少年の居場所として定着している。</p> <p>○新たに音楽スタジオを使用するグループとの懇談会を開催し、施設の使い勝手や設備機器に対する要望を聞くなど、利用者ニーズの把握に努めている。</p> <p>○利用者に快適に過ごしてもらうために、職員による館内清掃や見回り点検等を定期的実施している。</p> <p>平成24年度から指定管理者が変更になるため、新たな受託者には以下の点について更なる取り組みを期待したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①平成23年度は主催事業の新規開発や効果的なPR等により利用者が増加した。今後、施設運営を更に工夫して利用者の拡大に努めてもらいたい。 ②これまで実施してきた主催事業を改めて検証するとともに、新たな視点での事業も加えるなど、より魅力的な施設としての事業展開を図ってもらいたい。 ③人の交流を活性化しながら教育効果を高めるという視点から、多様な年代層と一緒に学べる場として、例えば、大学生が講師となり中学生や高校生に講座を開くことなどを検討すること。

【評価の目安】 A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの